



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Funado-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN  
 Mail : [freedomism@nifty.com](mailto:freedomism@nifty.com) Phone : 0797-38-4936  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」  
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"  
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」  
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"  
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」  
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、  
 "Let Y'smen Light Shine before Others,  
 in the club, in the community, in the world"  
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」  
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」  
 "With the heart filled with creative evolution.  
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"  
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」  
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒  
 直前会長 都筑省三  
 副 会 長 羽太英樹・堤 清  
 書 記 桑野友子・福原吉孝  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)  
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

5

May, 2013  
 第 192 号

## 今月の聖句

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」 使徒言行録 2:1~4

## 5月第1例会プログラム

と き: 2013年5月15日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3F  
 司 会: 藤田良祐 (敬称略)  
 受 付: 羽太英樹・福原吉孝

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1. 開会点鐘             | 島田 恒会長    |
| 2. クラブソング斉唱         | 一同        |
| 3. 聖書朗読             | 羽太英樹      |
| 4. ゲスト・ビジター紹介       |           |
| 5. タイワークキャンプ報告      | YNCAリーダー  |
| 6. 食前感謝             | 加輪上敏彦     |
| 7. 食事・歓談            |           |
| 8. スピーチ             | 西 義人      |
| 仮題 「賀川豊彦とその人生」      | (賀川記念館参事) |
| 9. 1) 第2例会議事録の承認    | 島田 恒会長    |
| 2) 事業委員報告・その他       | 各委員&メンバー  |
| 10. YMCAニュース        | 藤田良祐連絡主事  |
| 11. ニコニコ献金報告        | 福原吉孝      |
| 12. 誕生祝い            | 島田 恒会長    |
| 渡辺倫子・権甲植・大澤昌子・加輪上史子 |           |
| 13. 閉会点鐘            | 島田 恒会長    |

## リーダーシップ・トレーニングについて



地域奉仕・環境委員 上野恭男

理事通信4月号に、次のような谷川修理事務局長の一文が載っていました。これを転載させていただきます。

「さて、今月の強調点は、LT Leader-training です。今期 米村謙一EMC 事業

主任(熊本むさし)は、クラブの自己診断を提唱されました。クラブの現状をできるだけ客観的に見つめ直し、自クラブの良いところ、改善すべき点などをクラブ員みんなで共有し、良いところは伸ばす、改善すべき点は、これを改善していく。そのためには、良いリーダーシップが発揮されないとなかなか進まないのではないのでしょうか。多くのメンバーがそれぞれに味のあるリーダーシップを発揮するクラブは楽しいクラブとなっているのでしょうか。リーダー・トレーニングとは、何も特別な講習会や研修会をやるというより、日常のクラブ運営、メンバー同士の良き交わりと切磋琢磨により成果がえられるのではないのでしょうか。この機会に、自クラブでのリーダーシップかどのように育てているのかを考えてみるのも悪くないのではないのでしょうか。」

素晴らしい解説です。芦屋クラブではどうでしょうか。LTを覚えて皆で力を合わせて楽しいクラブへと努力しましょう。

## 4月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	12名	出席者	12名	
ビジター	名	メイクアップ	4名	
ゲスト	名	合 計	16名	ニコニコ (累計)
メネット	名	在籍者	18名	7,200円
		(内広義会員 1名)		(128,314円)
合 計	12名	出席率	84.1%	

## 4月第1例会報告

日時：2013年4月17日(水)

場所：ホテル竹園

司会：堀江哲次 (敬称略)

出席者：五十嵐政二、五十嵐かほる、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、島田恒、都筑省三、羽太英樹、福原吉孝、藤川晃成、堀江哲次、藤田良祐 (メン・ウイメン・メネット 12名)

島田会長の開会点鐘で始まり、クラブソング斉唱、羽太メンの聖書朗読があった。いつも思うことですが羽太メンの聖書の解説を聞き、その出来事背景やいろんなことを考えさせられ、このような素晴らしい解説をしていただくことに感謝したい。藤田良祐 YMCA 連絡主事による食前感謝が行われた後、食事と歓談のひと時を過ごした。その後、本日の主題である15周年

記念講演会の打ち合わせを行った。最初に島田会長よりこの記念講演会には3つの目的があることが説明された。



すなわち YMCA、ワイズのミッションを踏まえ、人生にとって大切なメッセージを届けること(講演) 楽しんでいただくこと(コーラス、パーティ) そして 芦屋ワイズに関心を寄せていただくこと(ワイズ参加者の発掘)という3つの目的である。特に一般市民に喜んでいただける会になるようにしたいとお話があった。プログラムが好評でチラシも説得力があり、チケット販売状況は今のところ210名を越えており(ワイズ関係45名以上、関学・女学院関係約45名、一般参加110名以上)、ラポルテホール230名のキャパに対し、満席となる可能性もある状況となったと説明された。また福原メンが当日出席出来ない代わりとして第2部のパーティの司会は柏原ウイメンをお願いしたとの説明があり、皆様から拍手を持って承認された。その後藤田連絡主事作成のタイムテーブル資料に従い福原メンの司会にて質疑応答を受けながら、事前/当日の役割が次々と決定されて打ち合わせを終了した。引き続き第2例会議事録承認、YMCA ニュース、閉会点鐘が行われ、少し定刻より時間がオーバーしたが4月第1例会を無事終了した。 堀江哲次

## 15周年記念講演会

4月21日午後、力を合わせて準備してきた講演会が幕を開けた。

私たちの願いは、1)人生にとって大切なメッセージをお届けすること、2)皆さまに楽しんでいただくこと、3)芦屋ワイズに関心を寄せていただくこと、であった。

先ずの注目はお客様の出席状況。チケットは順調に行き渡ってはいしたが、現実に参加いた



ただなければ目的は果たせない。時間前からのご来場、知人からの親しい挨拶、早くも輪ができて和やかな歓談。順調な出席に椅子並べの追加作業、ついには収容能力一杯の230席を上回る参加者を得て一抹の心配は安心に変わった。

来賓挨拶に続き、プティ・タ・プティのコーラス。ワイズソングから始まって、アンコールによるライムライトに至るまで、一生懸命歌って下さったステージに引き込まれた。そして、グローバル院長の講演。優しく明るく、そして論旨の通ったスピーチに思えた。「杯に溢れる人生」の語りかけに集中する場内を感じた。芦屋ワイズの活動紹介、参加への呼びかけを行い講演会は終了した。交流パーティに移る会場設営の間に、帰ってしまわれる方が多数出るのでは・・・という心配、メンバーばかりかお客様が多数手伝ってくださるハプニング、努力目標20分に満たず完了、賑いあるパーティが開幕した。十二分に用意したつもりのワイン(20本)が残り1本だけ、しっかり飲んでいただけた。

アンケート投函も沢山いただき、感謝の言葉を多く頂戴した。芦屋クラブに関心、と連絡先を残して下さった方が、思惑を大きく超え約40通いただいた。

目的が真に果たせたかは数字ではわからない。でも、この会が参加くださったワイズメンバー、関学・女学院同窓会メンバー、多数参加くださった市民の方々に深く感謝するとともに、何かの裏りとなっていくことを祈りたい。そして、わがクラブに関心をもってくださった方のフォローを心がけていきたい。挨拶ご担当、コーラスグループ、講演者に感謝する。クラブメンバーのチームワーク、そして役割への尽力を強く感じるイベントとなった。感動的な経験をさせていただいた。会長、実行委員長としてメンバーの皆さまに厚く御礼申し上げたい。 島田 恒

### メネット事業「心のケアを考える講習会」に出席して

五十嵐かほる

もっと多くの方に参加して欲しかった学びの多い講習会でした。

東北の被災地へ奉仕に行った啓明学院高校生と子供達をキャンプに招いたYの若者たちの報告：彼らの経験は先長い彼ら自身の人生に強い力となり、支えとなる事を確信させられ感謝でした！ また前仙台YMCA総主事光永氏は、今の現地の様子と先の長い支援が要る事を実感させていただきました。

心のケアについて、今回、西日本区メネット事業部はテキストを発刊。それによって著者である宗方比佐子氏がユーモアを交えて非常にわかりやすく講義をされました。

非常な恐怖、喪失感、生活の大変化によって人々はどんな心の状態にあるのか、心身に及ぶ障害に抗いきれない時にどんな癒しが必要なのか。専門家による治療のほかボランティアには何ができるのか・・・ただ寄り添って傾聴するしかありません。

最後に心のケアに役立つリラクゼーションとアート(?)の実践をたのしみました。

## 「<sup>さかづき</sup>杯が溢れる人生」

芦屋ワイズメンズクラブがチャーターして15年目の最大のイベントとして、ワイズ年度初めの昨年7月から計画・準備が進められてきた「芦屋ワイズメンズクラブ15周年記念講演会」は芦屋ラポルテ・ホール満員の盛会となり感謝です。 ルース・M・グルーベル関西学院第15代院長の基調講演に先立って、神戸女学院 OB「プティ・タ・プティ」の皆さんによる四季にまつわる懐かしい日本の歌の数々などのコーラスでまず、私たちの心を癒してもらった。

宣教師の娘として生まれ、両親と共に来日し2歳から高校卒業までのほとんどを日本で過ごされた経験もあり、流暢な日本語で聞く観衆は先生の話に引き込まれていった。 現在は社会学部教授としても教鞭をとられ、専門は「国際関係論」だそうで、地域や市民の国際意識等を研究テーマとして学生たちを指導されているようだ。 そんなこともあって、国際化の時代にあって私たちがどのように充実した人生が送れるのか、アメリカの最近の事例などを紹介しながら、物質的な面もさることながらスピリチャルな面での「杯が溢れる人生」追求のヒントを頂く講演だった。



講演後のワイン・パーティーでは賛助ねがった関学 OB、女学院 OG、六甲部ワイズ、近隣の方々との楽しい懇親のひと時が過ごせた。 今後、ワイズメンズクラブへの関心を寄せられる方へ積極的にアプローチしたい。

羽太英樹

### アンケートより コメント抜粋

自然とのふれあいを大切にすることが幸せ、脳の健康への貢献度が高いというお話、又、友人たちとの活動を通して幸せを共有する事が「盃をあふれさせる」というテーマが理解出来ました。 幸せにつながる7つのポイントを学びました。

ワイズメンズクラブの具体的な働きの内容は存じ上げませんが、今日の講演会を見せて頂いただけで貴クラブのご姿勢が伺えます。 用時間を頂き有難うございました。 後で説明会がスライドで示され、よく分かりました。

日常生活の中で今日のお話しを参考に実行して残り少なくなっている人生を歩んで行こうと思いました。



「人生にとって大切な価値を広く発信する」という目的を持って芦屋ワイズメンズクラブ15周年記念講演会の準備を進めてきました。 どのような方法で目に見えない大切な価値を皆さまに発信するか、また会場はどこが適切か、講演会の告知はどのように行うか等、様々な事柄について協議をし、準備を整えました。



講演会当日、司会者用の小演台の前に立つと会場は230名を越える方々で溢れていました。 まずは、「プティ・タ・プティ」の美しい女声コーラスにより耳と心を開いていただき、ルース・M・グルーベル関西学院院長の講演「杯が溢れる人生」により、社会の中にあって心が豊かに溢れる人生を過ごすためのヒントをいただきました。 最後に芦屋ワイズメンズクラブ紹介を通して、「杯が溢れる人生」を過ごすための活動例を皆さまに知っていただく機会を持つことができました。

参加して下さった方々一人ひとりがこの講演会を通してどのように感じ、何を学び、心の中に何を残されているのか、その心の中まで知ることはできませんが、「豊かに心を溢れさせる人生」について多くの方々と共に考え、人生を振り返る時間を共有していただけたことを何より嬉しく思っています。 最後になりましたが、講演会の趣旨にご賛同いただき賛助をいただいた皆さま、また陰で講演会を支えていただいたラポルテホールスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。

連絡主事 藤田 良祐

ルース・グルーベル先生の話はとても素晴らしかった。 幸せとは再度考えました。 プティ・タ・プティは2回目の出会いです。 素晴らしかった。 神戸友の会にもお呼びしたいと思いました。 めぐみといつしみがいつもある人生に乾杯。 私たちの心を溢れさせる方法を分かりやすく教えて頂きました。 幾つかあった中で一番

大切なたましいの働き、これは私の団体である羽仁にもつながると思いました。 そして、友の会のモットーは「思想しつつ、生活しつつ、祈りつつ」です。 有難うございました。 自分を出されずに人の例題を取り上げて謙遜に語られた真実は素晴らしいと感じました。 孫が関学三年生にいます

心にしみるお話しとすてきな歌声に有意義な時間を過ごさせていただきました。

## ピックアップ

### 上野ワイズが兵庫県警から表彰

通報したメールがきっかけでB-CASカード偽造犯の逮捕に結びつき、表彰されました。生活安全部長名の感謝状と副賞の楯をいただき、面映ゆい思いでしたが、新聞記者のインタビューを受けるころ、やっと実感がこみ上げてきました。モニターを10年あまりやってきましたが、検挙に結びつ



いたのは初めてとのことで県警も力が入ったのかもしれませんが。25日の神戸・毎日の各紙に顔写真入りで大きく報道され、友人から冷やかされています。

上野恭男

神戸・毎日新聞には2002年からモニターをされたとあります。私たちが知らないところで長くボランティアをされていたことにびっくりです。まさにグローバル先生が講演で話されていたように得意な分野で能力を活かせることの喜びをここからも又、気づかされたように思います。書記として部長の近くでお仕事を手伝わさせていただきましたが、何時どのようにして時間を作られたのかと、78歳に乾杯！

柏原佳子

## ピックアップ

### 4月第2例会議事録(抄)

場所： 芦屋市民センター 304号室 (敬称略)  
日時： 2013年4月24日(水) 19:00～21:00  
出席者： 上野・柏原・桑野・島田・都筑・羽太・福原・藤田

2012～13年度第1例会プログラムを確認した  
6月第1例会： 6月19日(水) スピーチ 島田会長「アベノミクスの可能性と限界」 & 振り返り & 次期の抱負  
3月度会計報告が羽太会計よりあり、承認された  
15周年記念講演会の報告が島田会長・実行委員よりあった。 入場者数234名(チケット販売275枚)  
芦屋川さくら祭りについて、中止による後始末の報告があった。参加申込金は全額返却された。鉄板・綿菓子機の献金に関しては返還を求めない。購入済みの食材・備品は来年まで持越し、人参とニラはみどり作業所に進呈した  
西日本区大会 (6月22・23日 名古屋)  
五十嵐、五十嵐M、上野、柏原、桑野、島田、羽太、羽太M、福原、渡辺の10名が参加する  
東日本区大会 (6月8・9日 花巻)  
参加者は上野、柏原、桑野の3名、別に神戸ポートクラブの小田浩メンも同行する  
他クラブ周年行事  
・宝塚クラブ25周年記念例会 (5月25日 宝塚ホテル)  
上野、柏原、桑野、都筑、渡辺の5名が参加、島田会長は日程を調整中  
・西宮クラブ65周年記念例会 (5月18日西宮YMCA)  
上野メン(六甲部部長)・柏原ウイメン(クラブ会長代行)の2名が出席する  
2013-14年のロースターのチェックをした。ロースターに住所や電話等の記入に同意しないメンバーは掲載しない(従来通り) 桑野友子(書記)

### 今月のスピーカー 西 義人(ニシ ヨシヒト)氏



1943年1月1日生まれ  
1967年3月甲南大学卒業後、灘神戸生活協同組合(現コープ神戸)に入所  
2007年常勤理事退任・顧問就任、賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会事務局顧問就任  
2010年4月社会福祉法人イエス団賀川記念館参事就任、現在に至る

### YMCAニュース

藤田良祐(YMCA連絡主事)

#### 三宮会館再開発について

2013年度末(2014年3月末)まで現三宮会館を使用し活動を継続すること、年度末に閉館する方向で準備を行うことが正式に決議されました。灘地区についても継続して拠点設置の方向で検討を続けることになりました。

#### 2013年イースター早天礼拝、開催

3月31日(日)に神戸YMCAと共催で東遊園地にて開催されました。会員、職員などを中心に約150名が集まりました。今年には日本基督教団神戸雲内教会の床次(とこなみ)隆志牧師をお招きし、「夜が明ける」と題してメッセージをいただきました。また、阪神地区においてもイースター礼拝が西宮の甲東教会において行なわれ、約60名の方々が参集されました。

#### 全国YMCAの動き

##### 1)公益法人制度改革への対応

この4月から新たに富山YMCA、名古屋YMCA、奈良YMCA、YMCAせとうち(岡山)が公益財団法人に、滋賀YMCA、沖縄YMCAが一般財団法人に移行されました。

##### 2)東日本大震災支援活動

仙台YMCA、盛岡YMCA宮古センター、東京YMCA石巻センターの3拠点への支援を中心に、各YMCA独自の支援活動が2013年度も続けられます。しかし、募金額は年々減少してきて、目標5年継続(今年は3年目)を可能にする資金調達が必要です。

##### 3)「日本YMCA人物事典」～われらまた こそりて起たん～出版

YMCAを守り育ててこられた先人の事跡をまとめた人物事典が出版されることになり、神戸YMCAも協力することになりました。一冊2000円です。

#### 今後の予定

##### 1) 2013年度定期総会

日時： 5月31日(金)午後6:30～8:30  
場所： 神戸YMCAチャペル

編集後記： 目に青葉のさわやかな季節となりました。今年には桜の満開が早く、その上、さくら祭りの中止でクラブとしてはがっかりでしたが、それを補って余りある15周年記念講演会の大成功でした。ワイズ仲間は勿論、芦屋・西宮、また遠く奈良や三木から参加された方もおられ、アンケートからも皆様ご満足の様子がうかがえました。ワイズ活動に関心を持たれる仲間が増えると嬉しいですね。 桑野友子